



《東京都中学校長会》

平成29年9月14日（木）

9月 会長だより

（地区代表者連絡会）

会長 岩 永 章

1 挨拶

例年以上に雨が続く夏となりました。7月には九州北部が豪雨に見舞われ、他の地域でも台風や豪雨による被害も出ています。東京でもゲリラ豪雨により、多摩川花火大会が中止になったことも記憶に新しいところです。最近の集中豪雨の特徴も含めて生徒に自然災害から身を守るすべを教えることの必要性を感じた夏でもありました。

夏季休業中、各校では補充教室、面談、水泳指導、宿泊行事や地域行事、部活動、夜間パトロール等にたくさんの先生方が関わり、生徒の健全育成にご尽力いただいたことと思います。また、都教職員研修センターや地教委、研究団体等が主催する研修会に参加され、研修を深められた先生方も多いことと思います。校長先生方におかれましては、せめて夏季休業中にリフレッシュする時間をお取りいただければと願っていましたが、熱中症や光化学スモッグへの対応など、学校のことが気にかかっておられたのではないのでしょうか。

9月に入り、都内の全ての中学校で授業が始まり、校内に生徒の声が戻ってきました。長期休業明けには、生徒の自死や不登校の兆しなど、一人一人の生徒の心情のかすかな変化にも気を配り、早め早めの指導を全校で進めていきたいと考えています。

さて、本会では、夏季休業中も各種関連団体と連携を深める活動を行ってきました。副会長の皆様方にも協力いただき、諸会合にも出席してきました。（学年・学級経営研究会全国大会、東京都へき地教育研究協議会総会、関東甲信越地区特別支援教育研究協議会東京大会、東京都退職校長会五団体との教育懇談会、東京都教育管理職員協議会教育懇談会など）。

また、7月の地区代表者連絡会でご検討いただいた「中学校教育関係要望書」を、教育対策部長とともに東京都教育庁総務部、都議会各会派に提出してきました。特に、教員の働き方改革に向け、中学校講師時数算定基準の緩和については、重点事項として要望してきました。教員の週の持ち時数削減は、以前より要望事項として取り上げてきた内容ですが、未だに実現されていません。文部科学省や東京都教育庁でも働き方改革の機運が高まっていますので、今後も関係機関と連携を深めながら、要望の実現に向け努力していきたいと思ひます。

こうした例年の活動に加え、「中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会」の開催に向けた準備も進めました。7月末に臨時代表者会を開き、各部の進捗状況の確認と調整を行いました。8月下旬と昨日には全日本中学校長会との拡大実行委員会を開き、本会と全日中との準備状況の確認と分担の調整を行いました。大会開催まで約1か月となりましたが、まだ準備や調整を必要とする案件も残っています。各部が責任をもって分担の仕事を進めるとともに、準備の漏れが無いよう連携を深め、確実に準備を進めていきたいと思ひます。今後は、会長、副会長、部長、各部間、各部内で連絡を密にとり、進捗状況を共有しながら効率的な準備を進めていきたいと思ひます。

以上のように夏季休業中にも本会として為すべきことを着実に進めてまいりました。10月には東京大会という10年に一度のイベントが行われます。東京都中学校長会が総力あげて成功に導きたいと思ひています。皆様のご協力をお願いいたします。そして、大会の準備を通して全日中、都中学校長会、役員会、各部、各地区、各校長間の連携が深まり、校長が互いに繋がり、支え合い、高め合う関係が自然にできることを願っております。これまで様々な活動に気持ちよくご協力くださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

2 当面の課題

（1）「働き方改革」に関する動き

文部科学省をはじめ東京都・東京都教育庁・地区教育委員会では、教員の長時間労働について

事部など教育庁全体で、「働き方改革」を進めています。本会では6月20日に地域教育支援部の「働き方改革」担当者と意見交換を行い、勤務実態調査を抽出校方式で行うことになりました。7月28日には、地域教育支援部担当者から「働き方改革」の進捗状況の報告とアンケート調査への協力要請を受けました。また、都教育庁では、次年度の予算編成に「働き方改革」の予算を計上するため、アンケートの集約を急いでいました。夏季休業中でしたが事務局を通じて各地区にアンケートへの協力をお願いしました。超過勤務時間の縮減に向けた各校の実践や校長先生方の提案を参考にしながら、検討を進める模様です。ご回答いただいたアンケート調査を提出するとともに、小学校長会と情報交換を進めながら、中学校としての重点事項を明らかにしていきます。急なお願いにも関わらず、ご協力ありがとうございました。

9月から「働き方改革」に関する検討会議を設置する旨の説明を受け、本会から小澤副会長と前島副会長に検討会への出席をお願いしました。検討会の成果に期待します。

3 連絡・報告事項

(1) 平成30年度に向けた動き

① 教育庁・政党への「平成30年度中学校教育関係要望書」の提出

8月18日に教育庁総務部に要望書を提出しました。また、東京都議会各会派には8月18日以降に要望書を送付しました。8月23日に公明党・共産党、9月4日に民進党を訪問し、内容説明を行いました。

② 教育長会への「平成30年度東京都中学校長会会費の予算化について」の提出

7月5日に町村教育長会会長 日の出町教育委員会教育長 小林 道弘様、7月7日に都市教育長会会長 東久留米市教育委員会教育長 直原 裕様、7月11日に特別区教育長会会長 台東区教育委員会教育長 矢下 薫様を訪問し、「平成30年度東京都中学校長会会費の予算化について」を提出しました。各地区の校長会からも次年度の東京都中学校長会会費等の予算化について協力要請をお願いします。

(2) 中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会への協力をお願い

東京大会の会場設営や前日準備、大会当日の運営に運営要項に沿って、いくつかの地区の校長先生にご協力をお願いします。特に、10月18日(水)には、配布資料(3600部)の丁合や受付の設置、座席表示などの作業を行います。10月19日(木)には、昼食の配布に人手が必要となります。学校行事等でお忙しい時期とは存じますが、東京大会へのご協力を願います。